

Good Wood Communication!

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2024年夏号 Vol.68



森林から
建築へ。
森林から木材に携る人ひと。
設計から建築に携る人ひと。
木を通じて、お互いの理解が進み
繋がりが深まることで、
森林と建築は、
もっと魅力的になれる。

自然景観に調和する「日本平夢テラス」は静岡県産木材を活用
インタビューに登場する早津和之さんが静岡県職員時に関与
(設計:隈研吾建築都市設計事務所)

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 36

「森町／掛川市森林組合 合併協議会の設立に向け

2年前の10月に「第1回 業務提携研究会」を開催、そして本年3月の第8回で研究内容を取りまとめ、報告しました。その間、研究会以外にも両組合の相互訪問や組合毎に分科会等を開催、組合の役割と経営課題を共通認識することで業務提携のあり方を議論してきました。同時に、実務面の統合・共通化に向けた取組として、職員による「組織力向上研修 実践編」も実施、両組合職員間の業務提携に関する意識を高めてきました。約2年にわたる24回の協議の成果といえます。

研究会としては、両組合の経営が順調な現段階だからこそ将来を見据えた大胆な経営強化策を講じることの重要性、実務面の統合・共通化に一定の成果が得られるであろう予測、職員の合併の必要性に関する理解の促進、といった共通認識を持つことができました。森林・林業を取り巻く環境は厳しく、森林経営は脆弱化し、山村は崩壊の危機に瀕しています。地域林業の振興と発展を図るには、中遠地区管内において地域林業を中心的に担える経営基盤をもった「中核森林組合」になる必要性も共有できました。

これらを主要な判断材料に、業務提携の今後の方針は「合併」の具体的協議へと進めることで合意しました。

昨年の合計特殊出生率が1.20と過去最低になったと大きく報道されました。進みつつある人口激減社会に対応し、生き残れる組合組織になるには、抜本的な経営基盤強化を図ることが重要で、林業を担い続けられる人材の確保、すなわち「人への投資」を行い、地域に頼られる組織になつていかなければなりません。

本年の通常総会では、皆さまに「合併協議会の設立」をお諮りします。そのうえで、ご承認をいただけるようなら、森町森林組合と具体的な合併協議を開始し、新組合の経営方針を整理し、組合員・関係機関のご理解と協力を賜りながら計画的に協議を進めたいと考えています。地域のニーズに対応した、頼れる中核森林組合となることで、組合員サービスの更なる向上を図りたいとの思いを強くしています。



「これいい!」 購買担当「リエさん」の オススメGOODS!!



- 天敵で虫除け オニヤンマ ¥1,485 (税込)
- あかねちゃん ¥968 (税込)

アウトドアや外仕事の際、リュックや帽子につけたり、玄関やベランダにつるしてカンタン虫対策!
殺虫剤や電池も不使用なので
お子さんやペットにも安心です。



蚊やコバエなど小昆虫は
あかねちゃんがおすすめ

スズメバチ・アブ・ブヨ・カメムシ
などの虫除けにはオニヤンマ



組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は
森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1
TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113
<https://www.kakemori.jp>



日本平夢テラスの外観



かけ森インタビュー 17

森林から建築へ。 木に携わる人を繋ぎ、木が活躍の場所を創造する。

早津和之さんは静岡県県へ入庁した後、一級建築士の資格を取得し、建築に関係する多様な現場に関わられました。木材への熱い思いから、県庁では木と建築を繋ぎ続け、自身が立ち上げた「しずおか木造塾」は今年25年目を迎えています。

尾崎・早津さんが、入庁するまでについて教えてください。

早津…出身は天竜二俣で、父親は大工でした。掛川西高校で学んでいたところから、建築関係に進もうと決め、東北大学で大学院まで構造力学を学びました。卒業後はゼネコンに入る選択肢もありましたが、故郷である静岡へ戻りたい気持ちと東海地震対策を行いたいとの思いが強くあり、結果、建築職として県庁に入る事ができました。

尾崎…県庁ではずっと建築関係に携わっていたのですか？

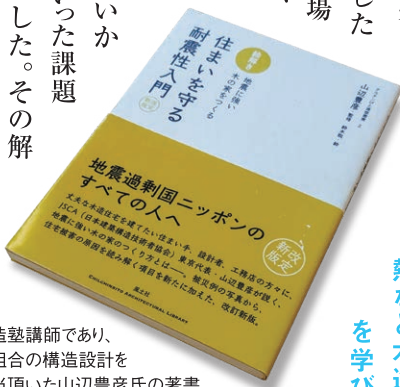
早津…建築確認申請、営繕、再開発、財政、県の木造住宅館など、建築や住宅にまつわる部署に多く従事しました。30代前半には財政課で採まれた経験が印象深いです。幅広い経験からは学びが多く、もともと大工の息子でしたから山や木には思入れがありましたが、

天竜土木事務所時代は「建物をつくる人間として、山を見なければいけない」と建築についての視野を広くも必要性を実感しました。

2000年、静岡県建築士青年委員会の委員長として、木材流通を考えるフォーラムを開催した際、森林の現場の人手不足や、いざ地域材で家を建てたいと思っても

誰に頼めばいいかわからないといった課題が見えてきました。その解決には、木に関わるあらゆる業種のネットワークの構築が必要だと考えるようになりました。

尾崎…早津さんが主催する「しずおか木造塾」は、木造建築が主なテーマですが我々山側の人間も参加することができ、まさ



木造塾講師であり、当組合の構造設計を担当頂いた山辺豊彦氏の著書

にネットワークをつくる場として、価値を作っています。私は2017年に受講しました。

宮内…私も2019年に受講しました。半年間、各月ごとに専門家が講師となり、構造・空間・温熱など木造建築の今とこれからを学びました。建築がこんなに多岐にわたり、

それぞれの分野で勉強し続けている人がいて、成長の過程にある世界であるとは知りませんでした。

早津…とても嬉しい言葉です。森林組合は、その経営を持続するために丸太の売り先のことを考え続けなければならぬ苦労があると思います。これから重要なのは「繋がりを作り続けること」でしょう。住宅着工数が激減してい

る大変な時代です。でもSDGsや公共建築の木造・木質化等での追い風もあるはずです。山側も建築側も、自ら視野を広げ主体的につながる意思を持って、静岡県の木造建築の需要や価値を高めてほしいです。木材の使い方の提案を含め、行政・企業などへのアプローチを続けて欲しいものです。

しずおか木造塾は今年25年目を迎えます。私自身も静岡の木造建築を支えるために、学び、繋ぎ続けます。森林関係の皆さまのご参加もお待ちしております！

◎今年度の「しずおか木造塾」の詳細は、組合HPでお知らせします。



当組合事務所にお越しくださいました

しずおか木造塾 塾長
はやつ かずゆき
早津 和之さん
聞き手：尾崎・宮内（編集委員）

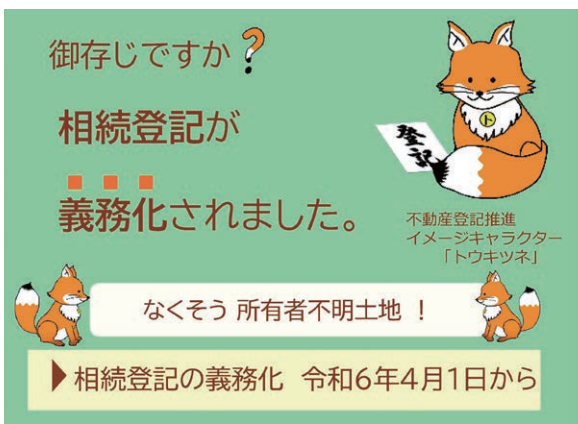


コラム・美林掛川へ 「登記簿」情報を更新しましょう！

今橋です。森林整備の計画担当者として業務をしていると、森林や土地に関する様々な情報を扱います。土地の登記簿情報もその一つです。

少し遡りますが、広報紙2022年秋号（61号）のコラムで「法務局から取り寄せた山の公図には地図としての精度が低いところがある！」ということをお話ししました。今回お話しする「登記簿」も「公図」の中身を示すものとして正確さが求められています。

業務の中で登記簿に記載されている情報を整理していると、登記年月日が極端に古い、数世代前の故人名義のままになっている「所有者不明土地」を目にすることがあります。こういったケースは、現在の相続人にうまく連絡をとることができず、森林整備や災害復旧が滞ってしまう原因になります。きつと山林の譲渡をすることもできないでしょう。このように、「困った土地」になっているケースが時々あり



御存じですか？
相続登記が義務化されました。

なくそう 所有者不明土地！

▶ 相続登記の義務化 令和6年4月1日から

ます。これは私も驚いたことですが、日本におけるこの「困った土地」は九州の面積に匹敵するほど存在するようなのです！

この事態に対処するため、法律により令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されました。不動産の取得を知った

日から3年以内に相続登記を行う必要があります。令和6年4月1日以前の相続も義務化の対象です。手続きが面倒と思わず、ぜひ適切な手続きをお願いします。（制度の詳細については、お近くの法務局や司法書士等にご相談ください。）

「公図」と「登記簿」

どちらも土地（言い換えれば国土）の情報を未来に引き継いでいくための、とても大切な情報です。掛川の山々を守り、健全に育てていくためにも、名義が変わった際は変更の登記をお願いします。私たち森林組合も森林整備を進めながら何か気づいた点は組合員の皆様にお知らせしていこうと思っています。

ご案内

第63回通常総会の開催について

総務経理課

8月24日（土）第63回通常総会を開催いたします。会場は掛川市生涯学習センターで、9時より受付開始です。本年度は、森町森林組合との業務提携に関する重要案件がございますので、ぜひご出席お願い申し上げます。なお、総会資料等は8月中旬に郵送します。「出欠席確認書」によりあらかじめ出欠を確認させていただきますので、欠席の方は「議決権行使書」のご提出をお願い申し上げます。総会記念品につきましては、当日ご出席の組合員様には総会にて、議決権を行使していただいた組合員様には、後日送付させていただきます。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

広報紙の編集委員が新メンバーになりました

広報紙「かけがわの森から」は4年間にわたり落合、今橋、伊達、宮内、尾崎が中心になって編集してきました。本号からは新メンバー+宮内、尾崎の皆様へお届けしてまいります。今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします！

●新メンバー紹介

山田（藍）…皆様に楽しんでもらえる情報をお届けしていきたいです！この広報紙が皆様と森林組合を繋ぐコミュニケーションツールとなれば嬉しいですね。

原田…森林組合で働き始めて1年が経ちました。広報紙の取材や編集をする中で多くの事を学び、皆様に発信していきたいです。

川瀬…普段は森林整備の現場で働いています。楽しい広報紙づくりはもちろんのこと、自分自身のスキルアップにも繋がっていききたいと思います！



川瀬



原田



山田